

確かな学びと豊かな心・健やかな体をはぐくむ 学校力向上プラン【学校評価計画書】

堺市立宮山台中学校
校長 山根 強

中学校区におけるめざす子ども像	自らを律し、自ら主体的に、生涯にわたり学び続ける生徒
-----------------	----------------------------

令和6年度 重点目標
・学習規律を基盤とした学力向上の推進 ・ICTを積極的に活用した授業改善の推進 ・生徒指導体制の充実（いじめや不登校の未然防止） ・豊かな人権感覚と道徳性の育成 ・不祥事を絶対に起こさない

「確かな学び」の現状 生徒の学習への思いは強く、昨年度の堺市CBT調査でも全学年で、「好きな授業がある」「国語の勉強は大切な」の質問に肯定的に捉えている生徒は、市平均を上回った。チャレンジテストのアンケートでは「家で、自分の苦手なところ、必要なところを考えて勉強している」は、全学年で府平均を上回っている。今年度も、学習への意気込みが感じられ、改善傾向にはあるが、「テスト前」「テストに出題する」などの状況にならないと学習に前向きにならない生徒が、未だに見受けられる。今年度は、目的・目標（めあて）・見通しを持った授業や教育活動を行い、ノート掲示でモデルを示すことを継続し、自分の考えや感想を書いたり、まとめたりする力をつけ、総合的な学力の向上を図る。	「豊かな心・健やかな体」の現状 学校行事に前向きで、最後まで協力して熱心に取り組める生徒が多いのが本校の特徴である。昼休みにボールを使うなど運動場で遊んでいる生徒も多く、部活動以外の外部のスポーツクラブに参加している生徒も多い。昨年度の学校教育アンケートの「体育授業や部活動に積極的に参加している」では肯定的な回答が9割を超えている。また、堺市CBT調査の質問項目、「外で体を動かすことは好きですか」は、全学年で市平均を上回った。「周りに困っている人がいる時、自分にできることはないかを考えていますか。」の肯定的回答が、市平均を上回るか、同程度である。また「人の役に立つ人間になりたいと思う」は市平均と同程度の傾向がみられる。基本的な生活習慣の「早寝早起き」では意識が低く課題があるが朝ご飯については毎日食べることができている生徒がほとんどである。
---	---

大項目	中項目	具体目標	具体的な取組 (●重点とする取組、★中学校区での取組)	判断基準 (評価のものさし)	評価方法	評価時期	進捗確認 (～11月)	達成状況(年度末)		
								自己評価	学校関係者評価	
確かな学び	学力の向上	授業力の向上	★研究授業の実施 学びのコンパスを見据えた堺版授業スタンダードの実践 ●学力向上委員会と教科会での改善検討	・年2回、計4教科での研究授業の実施 ・「先生は、教え方にいろいろな工夫をしている」の肯定的回答を90%以上	実施状況の確認 学校教育アンケート 児童生徒調査	12月 12月	○	数学、社会、家庭科で研究授業を実施。	○ ・「先生は、教え方にいろいろな工夫をしている」の肯定的回答を91%であった。	○ ・学校は一生懸命やってくれている。それが子どものために繋がっているかが課題。 ・自分が学びたいことを学習するのはとても
			★学びのコンパスを指向した授業改善 ●1人1台PC端末を活用した授業	「授業で自分の考えをまとめたり、発表したりすることがある」の肯定的回答が前年度を上回る。	学校教育アンケート 児童生徒調査	12月 12月	○	インフルエンサーによる研修を実施。	○ ・「授業で自分の考えをまとめたり、発表したりすることがある」の肯定的回答が少しではあるが、前年度を上回った。	○ 難しいが、今から育てていくことが大切である。学校は余分なこともあるから成長できる。
	基礎学力の定着	★学力向上の取組 ・出る出るプリント ・朝学習 ・朝読書 ・質問会や放課後学習 ・ノート掲示の取組など	テスト対策プリントの実施状況や朝学習をはじめとした反復練習、テスト前質問会など放課後学習の実施、ノート掲示。	実施状況の確認	毎学期末	○	・出る出るプリント、朝学習、朝読書の実施。 ・テスト前の質問会や放課後学習 ・ノート掲示を定期的に実施。	○ ・朝学習、テスト前質問会、放課後学習会、ノート掲示、テスト対策プリント「出る出るプリント」を計画通り実施できた。 ・「チャイム着席や服装などのきまりを守っている」「授業に集中していますか」は前年度同様の数値で、意識を高く持てたが前年度を上回ることではできなかった。 ・「家庭学習を毎日している」は昨年度と同程度、「家庭学習強化週間では、家庭学習に普段より多く時間をとっている」は目標値を下回り、課題が残った。	○ ・学校で宿題を終わらせ、家庭学習をしていない生徒もいる。 ・いかにやらせ感なく子どもたちに学ばせることができるか、のせられるか。スキンシップも難しい現在の学校では厳しい指導も大変である。	
	学びの基礎力	学習規律の確立	●生徒会、風紀委員会の取組との連携 ・時計を見て行動する ・チャイム着席 ・授業への集中	「チャイム着席や服装などのきまりを守っている」「授業に集中していますか」の肯定的回答が前年度を上回る。	学校教育アンケート 児童生徒調査	12月 12月	○	・生徒会によるチャイム着席運動の実施。 ・風紀委員による服装・持ち物チェックの実施。	△ ・「チャイム着席や服装などのきまりを守っている」「授業に集中していますか」は前年度同様の数値で、意識を高く持てたが前年度を上回ることではできなかった。 ・「家庭学習を毎日している」は昨年度と同程度、「家庭学習強化週間では、家庭学習に普段より多く時間をとっている」は目標値を下回り、課題が残った。	○ ・学校で宿題を終わらせ、家庭学習をしていない生徒もいる。 ・いかにやらせ感なく子どもたちに学ばせることができるか、のせられるか。スキンシップも難しい現在の学校では厳しい指導も大変である。
		家庭学習習慣の確立	●学力向上委員会と教科会との連携 「学びと生活のすすめ」による学習習慣の確立	「家庭学習を毎日している」の肯定的回答65%以上、「家庭学習強化週間では、家庭学習に普段より多く時間をとっている」の肯定的回答85%以上	学校教育アンケート	12月	○	家庭学習強化習慣の実施。	× ・「家庭学習を毎日している」は昨年度と同程度、「家庭学習強化週間では、家庭学習に普段より多く時間をとっている」は目標値を下回り、課題が残った。	△
豊かな心・健やかな体	生徒指導体制の充実	「チーム」として機能する生徒指導体制	●生徒指導委員会の取組 ・適切な初期対応と学年教員集団を基にした「チーム」での生徒指導対応 ・状況に応じた「ほうれんそう」の徹底	・月1回以上の事象の情報の共有 ・「学校は、いじめや暴力がない学校づくりに取り組んでいる」の肯定的回答85%以上	毎月の確認 学校教育アンケート	毎月 12月	○	毎月の生徒指導委員会の開催。	○ ・毎月行う生徒指導委員会や職員会議、また職員朝礼で情報の共有を行った。いじめに対しても同様である。 ・「学校は、いじめや暴力がない学校づくりに取り組んでいる」の肯定的回答85%であった。	○ ・不登校は本人も理由が分からないことが多い。団体活動が難しい。不登校生が多いことも知っているから安心してるところがある。行かなくてもよいという風潮がある。親も困ることになる。学校の関わり方が難しい。 ・教職員の頑張りを世間で評価してほしい。
		いじめ問題等への迅速な対応と不登校生徒への取組	●★いじめ・不登校対策委員会の取組 ・いじめや暴力に対する迅速な対応 ・不登校生徒が相談しやすい環境づくり	・いじめを迅速な対応で解決する。 ・不登校生徒の割合を前年度より減少する。	日常の確認 学校教育アンケート 年度末統計	日常 12月 年度末	○	毎月のいじめ・不登校対策委員会の実施。	△ ・「学校は、いじめや暴力がない学校づくりに取り組んでいる」の肯定的回答85%であった。 ・不登校生徒は1学期は減少していたが、2学期以降、増加傾向である。	○ ・いじめは大人でもある。それでも「いじめはダメ」と伝えていってほしい。 ・情報だけがたくさん入ってくる状況の中で、いじめや人権についての教育も難しい中、頑張ってもらっている。
	心の教育と体力向上	心身の健康を保持し、運動に親しむ	●保健体育や部活動を中心に保健知識の充実と体力の向上	「体育授業や部活動に積極的に参加している」で肯定的評価が80%以上	児童生徒調査	12月	○	熱中症対策を講じながら、体育の授業や部活動の実施	○ ・「体育授業や部活動に積極的に参加している」で肯定的評価が93%であった。 ・「学校行事は、みんなと協力して取り組んだ」で肯定的回答が前年度と同様であった。 ・「人権の大切さについて学ぶ機会が多い。」の肯定的回答が、83%であった。 ・道徳の標準授業時数を上回って実施した。	○ ・いじめは大人でもある。それでも「いじめはダメ」と伝えていってほしい。 ・情報だけがたくさん入ってくる状況の中で、いじめや人権についての教育も難しい中、頑張ってもらっている。
		学校行事、人権教育及び道徳教育の充実	●状況に応じた学校行事の実施と充実 ●あらゆる人権に関する感性を身につける。 ●道徳の時間を要として、他教科等や教育活動と関連させ、心の教育充実を行う。	・「学校行事は、みんなと協力して取り組んだ」肯定的回答が前年度を上回る。 ・「人権の大切さについて学ぶ機会が多い」の肯定的回答が、80%以上 ・道徳の標準授業時数の確保	学校教育アンケート 実施状況の確認	12月 年度末	○	・行事を計画的に行いながら、学期ごとに振り返りの実施 ・人権教育に向けた、教員研修・授業・講話の実施。	○ ・「学校は、学校の様子がわかるように、ホームページや学校・学年だより・tetoru等を通じて情報提供している」の肯定的回答が98%と高い値であった。 ・地域清掃やスポーツ大会等へ積極的に参加し、地域連携を進めた。	○ ・ホームページなどよく見られていて、活用ができていてよい。 ・中学校も参加してもらった地域行事があり、有難い。
開かれた学校づくり	地域協働	積極的な情報発信	●学校ホームページや学校だより、テトルを利用して積極的に学校の情報を発信する。またオープンスクール等で学校の様子を公開する。	「学校は、学校の様子がわかるように、ホームページや学校・学年だより・tetoru等を通じて情報提供している」の肯定的回答が90%以上	学校教育アンケート 実施状況の確認	年度末	○	HPやtetoruと学校・学年だよりなどの定期的な発信	○ ・「学校は、学校の様子がわかるように、ホームページや学校・学年だより・tetoru等を通じて情報提供している」の肯定的回答が98%と高い値であった。 ・地域清掃やスポーツ大会等へ積極的に参加し、地域連携を進めた。	○ ・ホームページなどよく見られていて、活用ができていてよい。 ・中学校も参加してもらった地域行事があり、有難い。
		地域連携	●地域行事に生徒・職員が積極的に参加し、地域連携を進める。	実施状況	実施状況の確認	年度末	○	・地域清掃の実施。 ・健全育成協議会主催のスポーツ大会への参加	○ ・地域清掃やスポーツ大会等へ積極的に参加し、地域連携を進めた。	○ ・中学校も参加してもらった地域行事があり、有難い。

校長より（年度末） ・今年度も基本的には落ち着いた状況で活動ができました。いじめや様々な課題について、今後も、早期発見し、対応・解決できるように努めます。不登校については、登校しやすい環境や、ICTを活用した、学習を行いやすい環境をどのようにすればできるか、引き続き、教職員全員で考えてまいります。 ・ICTの活用については、今年度、教職員が意識を高く持つことで、少しずつではあるが進めることができました。また授業改善においても、様々な研修を実施することができ、少しずつ改善することができました。	学校関係者評価者から（年度末） ・不登校やLGBTQ など、大変な時代になったおり、慎重に対応していく必要があるが、学校はしっかりと課題解決に向けて進めてくれている。 ・教職員はとても頑張ってくれている。様々な問題が多く、教員はしんどく大変である。教員の立場が向上してほしい。
--	--